

### ・(3-1) 生涯学習課所管事業

1. 女性センター管理運営事業
2. 社会教育総務費
3. 野々市市成人式
4. 生涯学習推進事業(学習情報提供事業)
5. 生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)
6. 生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)
7. 生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)
8. 青少年活動支援事業
9. 少年育成センター運営事業
10. 野々市市立志式
11. 放課後子ども教室推進事業
12. 公民館施設管理費
13. 公民館学習活動支援事業(ののいちマナビィフェスタ)
14. 公民館学習活動支援事業(寿大学事業)
15. 公民館学習活動支援事業(フォルテ合唱団)
16. 公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)
17. 子どもチャレンジ活動支援事業
18. 青少年健全育成地域活動推進事業
19. 富奥防災コミュニティセンター管理運営
20. 青少年情報メディア対策関連事業
21. 図書館運営・管理事業
22. 読書活動推進事業

23. 保険体育総務費
24. 保健体育施設総務費
25. スポーツランド施設管理費
26. スポーツセンター施設管理費
27. 市民体育館施設管理費
28. 武道館施設管理費
29. 中央公園運動広場等施設管理費
30. スポーツ大会
31. 体育施設開放事業
32. 指導者研修会・養成講習会
33. スポーツ団体育成事業
34. 生涯スポーツ活動推進事業
35. 日本スポーツマスターズ実施事業

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		女性センター管理運営事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	女性の社会参画事業の実施と活動を支援・推進する拠点としての施設管理				
事業の内容	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動		平成27年度 活動実績	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	施設利用者		人	12000	11779	12808	12000
		サークル数		団体	30	25	26	30
事業のコスト	財源内訳	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	0	116	60		
		一般財源	(千円)	6,059	5,882	6,804		
	事業費計	(千円)	6,059	5,998	6,864			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進	・女性のための自主事業の実施 ・施設を利用したサークル活動の 推進

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 女性のニーズや社会状況にあった事業を企画することで、女性の活動を支援していく。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		目標とする施設利用者、サークル数の達成に向けた広報活動。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		社会教育総務費			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				ソフト事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築に努める。				
事業の内容	年4回の社会教育委員会を開催し、生涯学習の推進を図る。市内で活動する社会教育団体の育成と補助金の交付。		平成27年度 活動実績	◇社会教育委員会会議の開催 4回 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会 650千円、スカウト育成会 550千円 子ども会 1,300千円、PTA連合会 750千円				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	4,277	4,584	4,720			
	事業費計 (千円)	4,277	4,584	4,720				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	社会教育の充実のため各関係機関の代表や学識経験者の意見を聞くことは重要である。生涯学習社会の充実のため、社会教育団体の育成は重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		各社会教育団体が自立した運営ができるよう調査・検討を図る。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市成人式			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	新成人者の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを目的とする。				
事業の内容	アトラクション(20年のあゆみビデオ上映)、式典、記念写真撮影、実行委員の募集		平成27年度活動実績	式典開催、実行委員会運営				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	実行委員会開催回数	回	10	7	8	8	
		参加率	%	-	39	42	45	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	781	824	850			
	事業費計 (千円)	781	824	850				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市として成人を祝うとともに、新成人が実行委員会を運営することによりまちづくりへの一助となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	転入されてきた成人者にも喜んでもらえるような内容を検討する。			

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(学習情報提供事業)			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務者に		事業の目的	各種公民館サークルの活動支援				
事業の内容	公民館サークル募集のチラシを全戸配布及び各公民館の来館者へ配布。		平成27年度 活動実績	公民館サークル募集チラシを全戸配布及び公民館来館者へ配布。 広報本編において年4回(4月、7月、11月、1月)生涯学習施設での取り組み紹介の記事を掲載。 各公民館の事業を紹介するブログを開設。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	成果指標になじまない	なし	—	—	—	—	
		成果指標になじまない	なし	—	—	—	—	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	130	129	130			
	事業費計 (千円)	130	129	130				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・各種公民館のサークル情報のチラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び公民館来館者への配布 ・広報での生涯学習施設関連情報の提供 ・ブログでの公民館活動情報の提供	・各種公民館のサークル情報のチラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び公民館来館者への配布 ・広報での生涯学習施設関連情報の提供 ・ブログでの公民館活動情報の提供	・各種公民館のサークル情報のチラシの作成 ・作成したチラシの全戸配布及び公民館来館者への配布 ・広報での生涯学習施設関連情報の提供 ・ブログでの公民館活動情報の提供

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)			
学びの場や交流の場を求める方よりサークル情報に関する問い合わせを多く受けるため 本チラシの配布は市民から高いニーズがある。紙媒体に留まらずインターネットを利用した情報発信に努める。				

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(ののうち市民大学校事業)			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民が市民及び市内勤務の人に			事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。			
事業の内容	◇コミュニティ・カレッジ(市民の運営による教養講座) ◇マイ・タウン塾(町内会単位での講座) ◇公開講演会(放送大学と連携した公開講座) ◇市民で構成する企画委員会を開催			平成27年度 活動実績	◇コミュニティ・カレッジ17講座(交流会含む)、述べ600人受講 ◇マイタウン塾2町内会、70人受講 ◇公開講演会2講座、85人受講 ◇企画委員会9回開催(委員数10名)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	成果指標	参加者数(コミュニティ・カレッジ、マイタウン塾、公開講演会)	人	570	584	755	760		
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	208	216	220				
	事業費計 (千円)	208	216	220					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会	コミュニティカレッジ、マイタウン塾、公開講演会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	より多くの方に参加していただくため、講座内容や形態について、社会の変化や市民ニーズを的確に捉えるよう企画していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		より多くの方に参加していただくため、講座内容や形態について、社会の変化や市民ニーズを的確に捉えるよう企画していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民から近隣地域住民に			事業の目的	知能・技能・経験を有する地域の方を「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設ける。もって青少年の体験活動の機会の拡大・住民のまちづくりへの参画意識の向上・学社連携の強化を図る。			
事業の内容	・学びのサポーターの登録:サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用:「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。			平成27年度 活動実績	学びのサポーター登録者数:21名 学びのサポーターとつくる夏休み体験:地区公民館で各3講座実施、256名参加。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加	人	300	5211	256	300	
		学びのサポーター登録数	人	30	21	21	25	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0	0	
		県支出金 (千円)	0	0	0	0	0	
		地方債 (千円)	0	0	0	0	0	
		その他 (千円)	0	0	0	0	0	
		一般財源 (千円)	158	93	158			
	事業費計 (千円)	158	93	158				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施	学びのサポーター登録及び募集、データベースの作成・学びのサポーターの活用:地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施、サポーター自主企画講座を実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	サポーター登録者、活用件数を増やすため市広報やHPなどで、当事業に関する情報提供を増やしたい。サポーターによる自主企画講座など、登録者が活動する場を検討していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		学びのサポーター登録者数を増やしていきたい。		



平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 4 学び合う、支え合う地域社会づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育総合基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内保護者に		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域の希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長を支援する。				
事業の内容	◆家庭教育推進協議会の開催(年2回) ◆家庭教育に関する学習機会の提供 家庭教育学級 幼児家庭教育講座 就学児子育て講座 思春期子育て講座 ◆子育て・学習情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーターの養成・活動		平成27年度活動実績	◆家庭教育推進協議会の開催(年2回) ◆家庭教育に関する学習機会の提供家庭教育学級(7校16講座865名参加※PTA委託)幼児家庭教育講座(12園13講座363名参加)就学児子育て講座(5校610名参加)思春期子育て講座(2校452名参加) ◆子育て情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーターの養成・活動:サポーター数:26名、なかよしの日での保護者とのふれあい活動(69回)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数	人	900	774	865	900	
		家庭教育サポーター人数	人	35	20	26	30	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金(千円)	0	0	0			
		県支出金(千円)	0	0	0			
		地方債(千円)	0	0	0			
		その他(千円)	0	0	0			
		一般財源(千円)	883	911	909			
	事業費計(千円)	883	911	909				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	B	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 人格形成の基礎である家庭教育の充実をはかることは、青少年の健全育成へつながる。各家庭の自主性を尊重しつつ、必要な取組を進める必要がある。インターネットを生活必需品とする現在の子育て世代に対応するためにはWEB上での発信が求められる。専門知識を有するののいはぐどットネット運営委員会と協力することで情報発信等に努めていきたい。			

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年活動支援事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。				
事業の内容	青少年ボランティア団体「ボランティア探検隊飛鳥」におけるボランティア活動、地域交流活動。		平成27年度活動実績	介護・福祉施設でのボランティア体験およびイベント補助。花いっぱい運動への参加。募金活動。交流会。会員募集ポスター作りなど。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数	日	20	9	9	10	
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数	人	30	6	8	7	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	142	33	89			
	事業費計 (千円)	142	33	89				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。募金活動。研修会、交流会など。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 本事業では、ボランティア活動や社会参加活動など、普段の学校生活では中々できない体験が得られる。また、子どもたちがそれらの活動を自発的に取り組むことで養われる福祉精神や意識は、地域社会の基づくりにおいても非常に重要である。本事業は今後も継続したい。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)			多忙な児童・生徒でも参加のしやすい柔軟な活動の検討。新たな会員獲得に向けての市フェイスブック等を利用した情報発信および募集活動の強化。

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		少年育成センター運営事業			所管	部	教育文化部
						課	生涯学習課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ハード・ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内店舗及び市民に		事業の目的	地域に密着した啓発活動及び巡視活動を行い、青少年の非行防止及び育成指導を図る。			
事業の内容	青少年の育成指導及び非行防止と健全育成事業。		平成27年度活動実績	街頭巡視びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	街頭巡視活動を行う人数	延べ人数	687	746	840	800
		インターネット巡視活動を行う人数	延べ人数	170	186	210	100
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	5,444	5,535	5,679		
	事業費計 (千円)	5,444	5,535	5,679			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	青少年を取り巻く環境は年々複雑さを増しており、それぞれに抱える問題の多様化も進んでいる。その中において、子どもたちと直接関わる街頭巡視、インターネット上の青少年に関する問題を見回すインターネット巡視は、市内青少年の育成指導や非行防止に大きな役割を果たしている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		非公開アカウントのため外部からアクセスできないWebサイトが増えてきており、インターネット巡視が難しくなっている。家庭内でのコミュニケーション増加を促し、子ども自身が適切にWebサイトを運用できるような環境作りが必要。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市立志式			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内在住の中学2年生に			事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。			
事業の内容	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。			平成27年度活動実績	講演会テーマ「伝える力」			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	立志式出席者数		人	-	488	481	480
事業のコスト	事業内訳	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	0	0	0		
		一般財源	(千円)	56	65	70		
	事業費計	(千円)	56	65	70			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	式典や講演会を通して、立志の意義を知り、大人になることへの心構えについて改めて考える機会となっている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		引き続き、子どもたちの発達期に適したテーマ内容の検討。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		放課後子ども教室推進事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 補助事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～3年生に		事業の目的	放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。				
事業の内容	◇野々市小学校放課後ふれ愛ルーム 毎週水曜日25名 ◇御園小学校放課後子ども教室 毎週水曜日23名 ◇菅原小学校放課後子ども教室 毎週金曜日28名 ◇館野小学校放課後子ども教室 毎週木曜日36名 ◇富陽小学校放課後子ども教室 毎週水曜日25名 ◇こどもセンター放課後子ども教室 毎週月曜日15名		平成27年度活動実績	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、高校見学、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、なわとび、防災教室、昔遊び、プラ板作り				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	参加募集チラシ配布人数		人	1200	1200	1200	1200
		参加人数		人	160	156	152	151
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
		国庫支出金 (千円)	655		0		0	
		県支出金 (千円)	655		1,378		1,470	
		地方債 (千円)	0		0		0	
		その他 (千円)	0		0		0	
		一般財源 (千円)	776		724		736	
	事業費計 (千円)	2,086		2,102		2,206		

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっぴ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっぴ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等	(学習・スポーツ・文化活動) 工作、クッキング、大学見学、フラワーアレンジ、お茶会、ネイチャーゲーム、灯ろう作り、人形劇、のっぴ体操、消防署見学、なわとび、絵本読み聞かせ等

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 多くの交流活動を実施することにより、学校の授業では教わらない貴重な体験をすることができた。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		地域ボランティアの人数が減少してきているので、新たな人材の発掘をしなければならない。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		公民館施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				ハード・ソフト事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。				
事業の内容	(中央公民館・野々市公民館・郷公民館・押野公民館) 維持管理、運営		平成27年度 活動実績	(中央公民館・野々市公民館・郷公民館・押野公民館) 維持管理、運営				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	利用件数	件	5700	5316	4253	4500	
		サークル数	団体	78	70	61	57	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	289	407	450			
		一般財源 (千円)	36,424	36,202	34,672			
	事業費計 (千円)	36,713	36,609	35,122				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	↑	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・公民館(中央・野々市・郷・押野)の維持管理、運営 ・中央(野々市)公民館の建設は野々市中央地区整備事業で計画 ・押野公民館外壁等改修工事(基本設計済)	・公民館(中央・野々市・郷・押野)の維持管理、運営 ・中央(野々市)公民館の建設は野々市中央地区整備事業で計画	・公民館(中央・野々市・郷・押野)の維持管理、運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市内、市外住民等問わず幅広い利用があり、今後も適正かつ計画的な維持管理・運営が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		・押野公民館外壁等改修工事の実施(基本設計済)		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(ののいちマナビフェスタ)			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、生涯学習活動の啓発と発表の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、生涯学習への意欲を高めると共に参画を促し、生涯学習の一層の振興を図る。				
事業の内容	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施		平成27年度 活動実績	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月中旬まで。作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施した。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	マナビフェスタ音楽祭、芸能民謡祭参加者数	人	800	636	623	700	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	1,200	1,261	1,250			
	事業費計 (千円)	1,200	1,261	1,250				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	↑	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	中央公民館建て替え中であるため、例年より内容を見直して、さらに生涯学習の活動発表の場を提供していく。	中央公民館建て替え中であるため、例年より内容を見直して、さらに生涯学習の活動発表の場を提供していく。	新中央公民館の使用が可能となるため、さらに生涯学習の活動発表を発展させたかたちで提供していく。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	今後も開催期間の短縮により内容の充実を図る。
	B	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後も開催期間の短縮により内容の充実を図る。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(寿大学事業)			所管	部	教育文化部
					課		生涯学習課
事業の概要	総合計画該当施策	2 生涯健康 心のかよふ福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法			
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が60歳以上の市民(大学校)、寿大学の修了者(大学院)に		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、高齢社会における課題を把握し、学習活動を通じて知識や教養を身に付けること。また、生涯学習の推進と仲間とのふれあいの場をつくること。		
事業の内容	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座を開講する。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。		平成27年度活動実績	寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年22回の講座を開講した。 寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースに分かれて年23回自主的に専門的な学習を行った。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	大学校受講者数	人	42	50	50	50
		大学院受講者数	人	195	186	187	192
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	1,500	1,500	1,500		
	事業費計 (千円)	1,500	1,500	1,500			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースの実施	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースの実施	・寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修等、年23回の講座 ・寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラス、水墨画、健康体操ストレッチの8コースの実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	今後も受講内容のマンネリ化を防ぎ、受講者の減少を防ぐ。
	B	B			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		今後も受講内容のマンネリ化を防ぎ、受講者の減少を防ぐ。		



平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(フォルテ合唱団)			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始		** 年度
					終了予定		** 年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～6年生(中・高校生も可) に		事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を 養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。				
事業の内容	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビフェ スタ、椿まつりなどに出場		平成27年度 活動実績	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:各種コンクール、マナビフェスタ、椿まつりなど に出場					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	団員数		人	50	24	33	29	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	250	200	200				
	事業費計 (千円)	250	200	200					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	定例活動日時:毎週金曜日、午後 4時30分～6時 その他:他団 体とのジョイントコンサート、マ ナビフェスタ、椿まつりなどに 出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後 4時30分～6時 その他:他団 体とのジョイントコンサート、マ ナビフェスタ、椿まつりなどに 出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後 4時30分～6時 その他:他団 体とのジョイントコンサート、マ ナビフェスタ、椿まつりなどに 出場

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 児童合唱団などのジュニアの文化・芸術団体の文化活動推進は、健全育成活動 において重要である。委託事業でなくなった場合、合唱団の存続が危ぶまれること から、保護者会の発足による自立を促しつつ、当面は公民館事業として継続して いく。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		団員の減少を防ぐため内容の充実を図る。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	地域の連帯及び生涯学習意欲の向上を目指し、各地区公民館を活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場を提供することにより、地域住民のより一層の向上を目指す。				
事業の内容	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。		平成27年度活動実績	野々市公民館 13事業/695人 運動会/1500人 富奥公民館 10事業/415人 運動会/1300人 郷公民館 15事業/724人 運動会/1250人 押野公民館 18事業/751人 運動会/1100人				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	4,150	4,500	4,500			
	事業費計 (千円)	4,150	4,500	4,500				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供	教養やふるさと教育講座の実施/地区市民の親睦を図る運動会の実施/市民の生涯学習活動の場の提供

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	運営審議委員などの意見を参考にしながら地域に根ざした事業を実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		運営審議委員などの意見を参考にしながら地域に根ざした事業を実施していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		子どもチャレンジ活動支援事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生に		事業の目的	人間性豊かな青少年の健全育成を図るため、地域の人々の協力を得ながら子どもたちに体験の場と機会を提供する。				
事業の内容	◇青少年自然体験:自然の中での体験教室の開催		平成27年度 活動実績	自然体験(2回 延べ42名)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	200	0	200			
	事業費計 (千円)	200	0	200				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。	公民館事業を含め、事業内容を精査しながら、地域の人々の協力を得て、子どもたちに様々な体験の場と機会を提供する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供する事業として重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		子どもたちのニーズを把握しながら、地元の自然環境の中で活動する機会を増やしていく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年健全育成地域活動推進事業			所管	部	教育文化部
					課		生涯学習課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成				ハード・ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、青少年の健全育成活動の推進を図る。			
事業の内容	地域の社会環境や青少年の実態に対応した青少年健全育成事業。(“ののいちっ子を育てる”市民会議へ委託)		平成27年度活動実績	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	子どもと大人のまちぐるみ美化清掃参加者	人	12000	10075	10766	11000
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算	
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	
			県支出金 (千円)	0	0	0	
			地方債 (千円)	0	0	0	
			その他 (千円)	0	0	0	
			一般財源 (千円)	900	1,708	2,023	
	事業費計 (千円)	900	1,708	2,023			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。	愛と和のひと声運動。子どもと大人のまちぐるみ美化清掃。メディア対策事業。非行防止活動。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	少子化や核家族化などの広がりにより、地域連携の薄れや地域住民とふれあう機会の減少が指摘されるなか、市内の各種団体・機関で構成された市民団体による地域活動への支援は、青少年健全育成活動をすすめるためには欠かせないものとなっている。こうした地道な啓発事業は継続することが重要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		現在の活動を継続することに加え、新たな啓発活動の検討が必要である。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		富奥防災コミュニティセンター管理運営			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】 2 消防と救急体制の充実 2 避難場所、防災用備蓄の充実			区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	該当なし						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	平成26	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	市地域防災計画		根拠法令	災害対策基本法			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	防災施設の充実を図る。				
事業の内容	防災施設の維持・管理運営、防災関連事業の実施		平成27年度 活動実績	防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	-
事業のコスト	財源内訳	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	517	785	0		
		一般財源	(千円)	5,633	6,757	0		
	事業費計	(千円)	6,150	7,542	0			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施	・防災コミュニティセンターの維持管理・運営 ・防災意識啓発事業、防災・災害知識向上事業の実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市内、市外住民等問わず幅広い利用があり、今後も適正かつ計画的な維持管理・運営が必要である。また、防災施設として市民ニーズに対応した防災関連事業が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		適切な保全・維持管理をし、効率的な活用を図る。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		青少年情報メディア対策関連事業			所管	部	教育文化部
					課		生涯学習課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法			
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市内の青少年を有害情報から守り、情報社会における正しい判断力と生活習慣を養うことができるよう、各団体及び機関の自立的な取り組みを支援し、家庭・地域・学校の連携を促すための連絡調整を行う。		
	事業の内容	青少年のメディア問題に関する啓発活動、実践活動を展開し、健全育成活動の効果的な推進を図る。		平成27年度活動実績	保護者向けメディアリテラシー講座の開催 ネット被害啓発チラシ等作成 先進地視察研修 情報メディア小・中学校教員研修 Web巡視担当者研修		
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	保護者向け研修会参加者	人	200	150	150	150
事業のコスト	事業内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	600	600	600		
	事業費計 (千円)	600	600	600			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視	保護者向け研修会 メディア問題啓発チラシ作成 情報モラル教育の推進 ネット巡視

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 子どもや保護者がスマートフォンやネット関連機器について学習し、これらに潜む危険性から子どもを守る必要があるため。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		子どもたちが使用するメディア機器について、各家庭で使用に関するルールを作っていくよう啓発する。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		図書館運営・管理事業			所管	部	教育文化部		
						課	図書館		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進				ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	図書館法				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務・通学の方に		事業の目的	利用者が必要とする多様な資料や情報の提供ならびに市民の読書を推進する。					
事業の内容	資料の収集、整理、提供、図書の貸出・返却等業務。レファレンスサービス。移動図書館車の運行。学校図書館の支援及び連絡車の運行。図書館だよりの発行。		平成27年度 活動実績	図書館協議会、図書展示、移動図書館車の運行、学校連携事業、市司書事務連絡会、チャリティ古本市					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	貸出冊数		冊	-	93272	95410	96000	
		貸出人数		人	-	28697	29106	30000	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	240	0			
		一般財源	(千円)	18,247	16,669	17,633			
	事業費計	(千円)	18,247	16,909	17,633				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	↑	↓	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	新図書館移転準備 11月に開館する新図書館の管理運営を行う民間事業者による本事業を移行する。また開館以降の事業費は未定である。	以後、民間事業者による図書館運営となる。行政職員は市の計画の遂行及び図書館協議会の開催や会議等に参加する。 (新図書館は民間事業者による管理運営となるため、事業費は未定である。)	引き続き民間事業者による図書館運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	現図書館における図書の新鮮さを保ちつつ、新図書館に向けた蔵書の整理を重点的に行っていく
	A	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		新図書館開館にかかる様々な手続きや引き継ぎを抜かりなく行うことが重要である。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		読書活動推進事業			所管	部	教育文化部	
						課	図書館	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度			
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画 野々市市子ども読書活動推進計画	根拠法令	子どもの読書活動の推進に関する法律				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が ① 7カ月児とその保護者に(ブックスタート) ② 3歳児に(読み聞かせ) ③ 幼児～低学年児童に(おはなし会) ④ 10代の若者に ⑤ 市民全般に	事業の目的	子どもが自ら進んで読書を楽しむようになること。 子どもを取り巻く社会全体が連携して子どもの読書を支えること。 読書の楽しさを広め推し進めることができるボランティアの育成と活用。				
事業の内容	読書の大切さを伝える。 子どもと絵本を読むことの楽しさや大切さを体験を通して親子に知ってもらおう。 ボランティアの育成と活用。	平成27年度活動実績	おはなし会、ブックスタート、絵本や紙芝居の読み聞かせ、ボランティアの育成と活用、ののいち子ども読書の日関連事業					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	活動日数(ブックスタート)	日	24	24	24	24	
		参加親子(ブックスタート)	組	-	635	646	650	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0	0		
		一般財源 (千円)	608	545	966			
	事業費計 (千円)	608	545	966				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	↓	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	野々市市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 11月に開館する新図書館の運営を行う民間事業者による事業を移行する。また開館以降の事業費は未定である。	野々市市子ども読書活動推進計画に基づく事業(「ののいち子ども読書の日」事業など)の実施 新図書館内は民間事業者による運営となるため、事業費は未定である。	引き続き野々市市子ども読書活動推進計画に基づく事業(「ののいち子ども読書の日」事業など)の実施 新図書館内は民間事業者による運営となるため、事業費は未定である。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	A	B		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		新図書館に運営が変わった後の、市全体としての事業推進体制の整備が必要である。	



平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		保健体育総務費			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業 単独事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始		**	年度	
					終了予定		**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第31条、野々海市スポーツ推進審議会に関する条例、スポーツ基本法第32条、野々海市スポーツ推進委員に関する規則				
事業の対象(誰が・誰に)	野々海市がスポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員に		事業の目的	審議会委員の提言や助言をスポーツ推進委員の協力のもとに、スポーツ事業の推進と普及を図る。					
事業の内容	スポーツ推進審議会の開催。 スポーツ事業の推進を図るため、スポーツ推進委員の委嘱を行う。		平成27年度活動実績	・スポーツ推進審議会委員の委嘱及び審議会の開催 ・スポーツ推進委員の委嘱 ・各団体への負担金					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		**	**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0		
			県支出金	(千円)	0	0	0		
			地方債	(千円)	0	0	0		
			その他	(千円)	0	5	0		
			一般財源	(千円)	4,385	6,594	7,269		
	事業費計	(千円)	4,385	6,599	7,269				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の開始	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	・スポーツ推進審議会のご意見などを、スポーツ振興事業の推進に活かすよう努める。 ・スポーツ推進委員には、積極的に研修会等に参加いただき、他市町での先進的事例、取り組みなどを研修いただき、本市における生涯スポーツ事業の推進に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		・審議会委員の積極的な意見に基づき、事業の改善に努める。・スポーツ推進委員には、各種スポーツ事業において、積極的に指導及び連絡調整に活動していただく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		保健体育施設総務費			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法		根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市の管理するスポーツ施設を安全快適なものとして、保全管理の徹底と効率的な活用に努めるものである。					
事業の内容	・市内スポーツ施設の維持・管理及び改修等事業。		平成27年度 活動実績	武道館北面外壁爆裂箇所一部改修工事、スポーツランド室内プール南面上部ガラス修繕工事、スポーツセンターエアコン取替及び市民体育館エアコン撤去工事					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	施設の利用人数		人	350000	297268	312278	320000	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	14,500	16,032	15,000				
		一般財源 (千円)	133,332	30,257	48,978				
	事業費計 (千円)	147,832	46,289	63,978					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	経年劣化している施設に対し、利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		体育施設を安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツランド施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成27年度活動実績	スポーツランドプール南側ハンガードア修繕外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	0	44,229	43,745			
	事業費計 (千円)	0	44,229	43,745				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	-	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		経年劣化している施設に対し、安全な維持管理に努める。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツセンター施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成27年度活動実績	スポーツセンター電光掲示板修繕外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	0	9,388	8,248			
	事業費計 (千円)	0	9,388	8,248				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	-	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		経年劣化している施設に対し、安全な維持管理に努める。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		市民体育館施設管理費			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法		根拠法令	スポーツ基本法 第12条					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理		平成27年度活動実績	市民体育館床タイル修繕外					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	成果指標になじまない			**	**	**	**	**
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	0	15,818	14,921				
	事業費計 (千円)	0	15,818	14,921					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	-	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		経年劣化している施設に対し、安全な維持管理に努める。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		武道館施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成27年度 活動実績	武道館分電盤修繕外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	0	2,207	1,054			
	事業費計 (千円)	0	2,207	1,054				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	-	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	経年劣化している施設に対し、安全な維持管理に努める。			

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中央公園運動広場等施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成27年度 活動実績	中央公園運動広場グランド修繕外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	0	6,310	4,233			
	事業費計 (千円)	0	6,310	4,233				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	-	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		経年劣化している施設に対し、安全な維持管理に努める。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツ大会			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第22条第1項				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市内在住もしくは市内勤務・通学の中中学生以上の人に		事業の目的	ニュースポーツに親しむことによって、運動不足の解消と健康増進を図るとともに、市民のコミュニケーションを深めることを目的とする。				
事業の内容	市スポーツ推進委員会が中心となって普及しているトリプルソフトバレーの大会。 4~5人1チームで、各チーム予選3試合を行い、上位チームで順位決定戦を行う。		平成27年度活動実績	平成28年3月13日(日)に第7回野々市市トリプルソフトバレー大会を開催した。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	トリプルソフトバレー大会		人	160	126	143	150
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	15	12			
		一般財源 (千円)	77	56	58			
	事業費計 (千円)	77	71	70				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。新たなニュースポーツ大会の開催。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	現在推進しているトリプルソフトバレーについては、7回目の大会を開催しており、毎年参加チーム数が増えている。大会後のアンケートでは、トリプルソフトバレー大会の継続を望む声が多く、今後も市民の健康増進と地域交流に寄与する大会となるよう努めていきたい。また、さらなる生涯スポーツの振興のため、新たな種目やニュースポーツ大会の開催についても検討していきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		今後も大会開催及びニュースポーツについて、広く市民に伝える。また、大会の内容及び形態について、工夫・検討を行うっていく。		



平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		体育施設開放事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第13条第1項 野々市市立学校の施設の開放に関する規則				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市スポーツクラブ会員及び市スポーツ少年団、市体育協会加盟団体に		事業の目的	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し市民のスポーツ活動の振興を図る。				
事業の内容	学校開放運営委員会を設け、市内7校の教員及び学校利用団体代表者による開放運営委員会議を開催し、小・中学校の屋内体育館及び屋外運動場(体育館6、運動場6)の開放を行っている。		平成27年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育施設開放運営委員会</li> <li>学校体育施設開放指導員打合わせ会</li> </ul>				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	学校体育施設利用者	人	88000	93002	95353	95500	
		学校開放件数	件	3000	3362	3255	3300	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	1,066	880	1,027			
	事業費計 (千円)	1,066	880	1,027				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		市民の利用ニーズが高まってきたため、現在の利用状況を的確に把握し、施設の利用促進に引き続き努めていく。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		指導者研修会・養成講習会			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第11条、第14条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市スポーツ推進委員、市スポーツクラブ員、市スポーツ少年団指導者・保護者、市体育協会員、市民及び市内勤務の人に		事業の目的	指導者を育成し、その指導者を中心として広く市民に安全で楽しくスポーツに親しむ機会を提供する。				
事業の内容	・市スポーツ推進委員の各種研修会への派遣 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)		平成27年度 活動実績	・北陸地区スポーツ推進委員研修会兼石川県スポーツ推進委員研修会への派遣 ・市スポーツ推進委員研修会の実施 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)の実施				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	市スポーツ推進委員の研修会参加人数	人	70	33	42	50	
		スポーツ傷病の予防と応急手当講習会参加人数	人	60	39	37	45	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	386	325	1,021			
	事業費計 (千円)	386	325	1,021				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 近年参加できていない全国スポーツ推進委員研修会等への派遣や自主研修を通して、スポーツ推進委員の資質向上及び新たなニュースポーツの普及につなげ、市民を対象とした事業等に活かしていく。スポーツ活動を安全・快適に行う上で必要な知識を身に付けていただくために各種講習会を実施する。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) スポーツ推進委員が研修会で体験したニュースポーツを、体験会等の各種事業を通して市民への紹介・普及に努めたい。講習会に参加された方々の意見を取り入れながら、内容の検討を行っていく。			

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツ団体育成事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						
	行政改革推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進			事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度			
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条、第34条				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民および体育協会並びにスポーツ少年団等に		事業の目的	市民の健康増進とスポーツ事業の推進を図る。			
	事業の内容	・各種全国大会等に出場する選手への激励費の支給 ・小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会への委託事業 ・体育協会、スポーツ少年団等への補助金の支給等		平成27年度活動実績	・各種全国大会等に出場する選手への激励費の支給 ・小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、野々市じょんからの里マラソン大会、県体選手派遣等各実行委員会委託事業 ・体育協会、スポーツ少年団、競技強化委員会等補助金交付			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	野々市じょんからの里マラソン大会の参加者	人	1600	1297	1230	1400	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	15,144	15,716	15,487			
	事業費計 (千円)	15,144	15,716	15,487				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 ・各団体の補助事業(団体事務局の独立)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 ・各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 ・各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 国際大会、全国大会等に出場する選手に激励費を支給。各大会の委託料についてはそれぞれの実行委員会において、事業内容の精査見直し等を行いながら、適切な運営に努める。体育協会、スポーツ少年団事務局の自主運営に向けた意識の向上及び団体事務専任職員による主体的な団体事務運営を確立する。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		・各種スポーツ大会の実行委員会への委託事業については、多くの市民の方にスポーツに親しんでいただけるよう実行委員会と共に工夫を行う。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯スポーツ活動推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進							
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度				
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条					
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市民各層のニーズを勘案したスポーツ教室を開催することにより、健康を増進し体力向上を図るとともにスポーツ人口の拡大を図り活力あふれる地域づくりを目指す。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者健康クラブの活動補助</li> <li>・体力・運動能力調査の実施</li> <li>・エアロビック教室の開催</li> <li>・ニュースポーツ体験会の実施</li> <li>・スポーツガイドののいちの発行</li> </ul>		平成27年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者健康クラブの活動補助</li> <li>・体力テスト(一般・高齢者)</li> <li>・すもう教室</li> <li>・わくわく運動教室(夏・秋 各6回)</li> <li>・のびのび教室(3回)</li> <li>・エアロビック教室(春・秋・冬 各6回)</li> <li>・ニュースポーツ体験会の実施</li> <li>・スポーツガイドののいちの発行</li> </ul>					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	高齢者スポーツ活動参加者数		人	1500	925	1117	1200	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	37	0			
			一般財源 (千円)	459	349	427			
	事業費計 (千円)	459	386	427					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。スポーツ教室の新たな委託等について検討。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。スポーツ教室の新たな委託等について検討。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		内容の充実を図るとともに、今後のスポーツ教室の新たな委託等について検討し、より市民のニーズに合った参加者の増加につながる事業を目指す。	

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		日本スポーツマスターズ実施事業			所管	部	教育文化部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興計画	根拠法令	スポーツ振興法第7条、第22条 (スポーツ基本法第22条)				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が日本スポーツマスターズ2015大会野々市会場実行委員会		事業の目的	国内の競技志向の高いシニア世代を対象にしたスポーツの祭典である「スポーツマスターズ2015石川大会」が野々市市において円滑に運営されることを目的とする				
事業の内容	日本スポーツマスターズ2015石川大会 野々市会場 平成27.9.19(土) 全13競技、野々市市ではバレーボール競技場として開催された。		平成27年度活動実績	9月19日(土) 野々市市スポーツセンター バレーボール競技会場 会場のおもてなしコーナーにおいて、地元特産の物販ブースを設けた他、野々市の水で参加選手をもてなす。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	180	0			
		一般財源 (千円)	0	320	0			
	事業費計 (千円)	0	500	0				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開			
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	日本スポーツマスターズは全国持ち回りとなって開催されており、石川県は平成27年度に開催地となった。
	-	-			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業終了		

【生涯学習、青少年、図書館関係】

公民館事業における情報提供の方法について、市のHPや広報等で情報を発信していますが、より多くの市民に周知できるよう、他の方法でも検討していただきたいと思えます。

コミュニティカレッジやマイタウン塾といった市民に生涯学習の機会を提供する事業が実施されていますが、実施する時間帯や時期について市民ニーズを的確に把握し、内容の充実を図り、一層参加者が増えるよう努めていただきたいと思えます。

学びのサポーターをはじめとする地域人材の活用については、地域ボランティアの確保やサポーターの自主的な活動の支援が必要となっていますので、きめ細かい対応を期待します。

青少年健全育成事業については、各々が人間性豊かな青少年の育成にとって大事な事業であると思えます。保護者には、事業の取り組みを理解していただき、子どもを参加させることは基より、協力者として活動していただけるよう、事業のさらなる充実をお願いしたいと思えます。

青少年のメディア対策関係については、ネット巡視やメディアリテラシー講座及びメディア機器の使用に関する家庭のルール啓発等は、野々市市としての成果に繋がれていると思えます。今後も、市内関係団体と連携し、保護者に対する一層の啓発等、さらなる充実をお願いしたいと思えます。

図書館の地域ボランティアを活用した各種事業については、ボランティア登録者が増えるような方策を考えていただきたいと思えます。特に市内の大学との連携や新図書館を運営する民間事業者との協力について検討していただきたいと思えます。

【スポーツ振興関係】

利用者が安全で快適に利用できるよう経年劣化している体育施設の適正な維持管理をお願いしたいと思えます。

学校体育施設の利用者や学校開放件数の増加は、これまでのスポーツ推進や施設利用推進の成果であると思えます。今後も適切な施設利用がなされるよう努めていただきたいと思えます。

トレーニング機器についても利用者が増加傾向にあるようですが、体育施設にあるトレーニング機器等の老朽化が進んでおりますので機器更新に対しての計画的な予算化を望みたいと思えます。

ニュースポーツとして現在推進されているトリプルソフトバレーボールは、市民の間はかなり定着していると思えますが、何か新しいスポーツにも挑戦したいという声もスポーツ愛好家から聞かれますので、新たなニュースポーツを検討していただきたいと思えます。

スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員に関する事務事業において、全国スポーツ推進委員研修会等にスポーツ推進委員を派遣して、ニュースポーツを学び幼児から高齢者までの幅広い健康増進を図っていただきたいと思えます。

また、生涯スポーツ活動推進事業において、高齢者で健常者に対する事業をもっと検討していく必要があると思えます。

・(3-3) 今後の方針

【生涯学習、青少年、図書館関係】

- ① 公民館事業の啓発については、市広報を効果的に活用していくとともに、地区公民館のHPを充実させて、各事業の魅力を市民に向け発信していきます。
- ② コミュニティカレッジ等の事業について、幅広い年齢層の方に参加していただけるよう、仕事が終わってからでも参加できるような時間設定や、開催時期等を検討していきます。
- ③ 学びのサポーターの活用等については、会員の募集は基より、サポーターに関する情報の発信を計画的に行い、サポーター各々の特徴を把握し、自主的な活動に繋がるよう支援していきます。
- ④ 青少年健全育成事業の充実は、放課後子ども教室等において地域の方々にご協力いただき、学校では習わないような様々な体験活動を企画して、地域の教育力向上に努めていきます。
- ⑤ 青少年のメディア対策については、野々市市青少年メディア対策連絡協議会において、関係諸団体と青少年を有害情報から守り、情報社会における正しい判断力を養うことができるよう啓発活動等を推進していきます。
- ⑥ 図書館の事業に協力いただいている地域ボランティアの実情については、これまで、シニア層の女性が大半でしたが、今後は学生等の若い人や男性も参加しやすい活動のあり方を検討します。新図書館を運営する事業者とも十分協議し、ボランティアが活動しやすい環境づくりや自主的な活動の支援に努めていきます。

【スポーツ振興関係】

- ⑦ 快適に施設を利用できるよう配慮し、適正で安全な維持管理に努めます。
- ⑧ トレーニング機器等の更新については、体育館の構造上にも問題があることも含め、全ての更新は困難な状況と考えておりますが、可能な限り機器等の更新を今後検討し、計画的な予算化を図っていきたいと思っております。
- ⑨ 全国スポーツ推進委員研修会へのスポーツ推進委員派遣の予算化を図るとともに、幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツの普及の推進に努めます。